



審判副委員長



戦評用紙

種別 **バレーボール (知的)** 会場 **トリムパークかなづ**

平成 **30** 年 **10** 月 **14** 日 日曜日 第 **2** 日目

B コート 第 **9** 試合

1回戦(第 試合) 準決勝(第 試合) 3位決定戦 決勝戦 交流戦(第 試合)

◎試合結果 (該当する種別にレ印)

勝利チーム	}	25 — 17	}	0 和歌山県
東京都 2		25 — 20		都道府県、指定都市名
都道府県、指定都市名		—		都道府県、指定都市名

【審判員】

主 審： 倉野 禎人 副 審： 山崎 守
 記録員： 端 健太郎 A・S： 谷口 楓 A・S： 菅原 さくら

【戦 評】

記載者： 八田 宏

第1セットは東京が12番竹村のサーブや4番相根のスパイクなどでリードし、
 その後は、和歌山も1番橋本のスパイクやサーブなどで健闘したが、東京1番
 小野寺のブロックなど堅実な攻守によりリードを守り25-17で第1セットを先取した。
 第2セットは初盤から東京が好プレーを展開し前半をリードしたが、和歌山も
 1番橋本のスパイクなど攻守に健闘し11-11と追いつき15-11と逆転した。
 しかし、その後東京は2番森本のサーブや1番小野寺のスパイクなどが冴え
 再度リードして、第2セットを25-20で取り、セットカウント2-0で東京が
 本大会の優勝を収めた。